

「うまげなかがわ感じてみまい！
うどん県住みます学生プロジェクト」

国立大学法人香川大学



取組の概要

東京圏の大学と香川大学が学生の交流に関して組織的に連携し、東京圏の大学の学生に香川の特色や魅力等を経験できる取組を推進することで、香川への新しい人の流れを生み出すだけでなく、地域に根差した人材の育成を図り、地方創生の実現につながることを目指す。

主な取組の内容・効果

取組内容

フィールドワーク型プログラム

地域理解を主な目的とし、香川県内の多くの自治体と連携。小豆島での地引網や稲刈り体験、善通寺市での映像メディアによる地域の魅力発信など様々なフィールドワークを実施。

インターンシップ型プログラム

香川の魅力ある地元企業・自治体と連携。香川での就労体験を通じて地域理解を図る。「職人育成塾」では、日本のものづくり文化の基礎となっている職人の理念や技能を学ぶ。

ワークショップ型プログラム

学生の専門分野を踏まえ、自治体や地域企業など地域に関わる方々と地域課題解決の実践を実施。

小豆島において、「観光情報サービス創出ワークショップ」、および「街づくり合同ワークショップ」を行う。

長期プログラム

東京圏の大学生が香川大学に半年間滞在し、香川大学の授業科目を受講する「単位互換型」、および卒業研究・高学年ゼミへ参加し実践型・課題解決型の学修に取り組む「共同研究型」を実施。

取組の効果

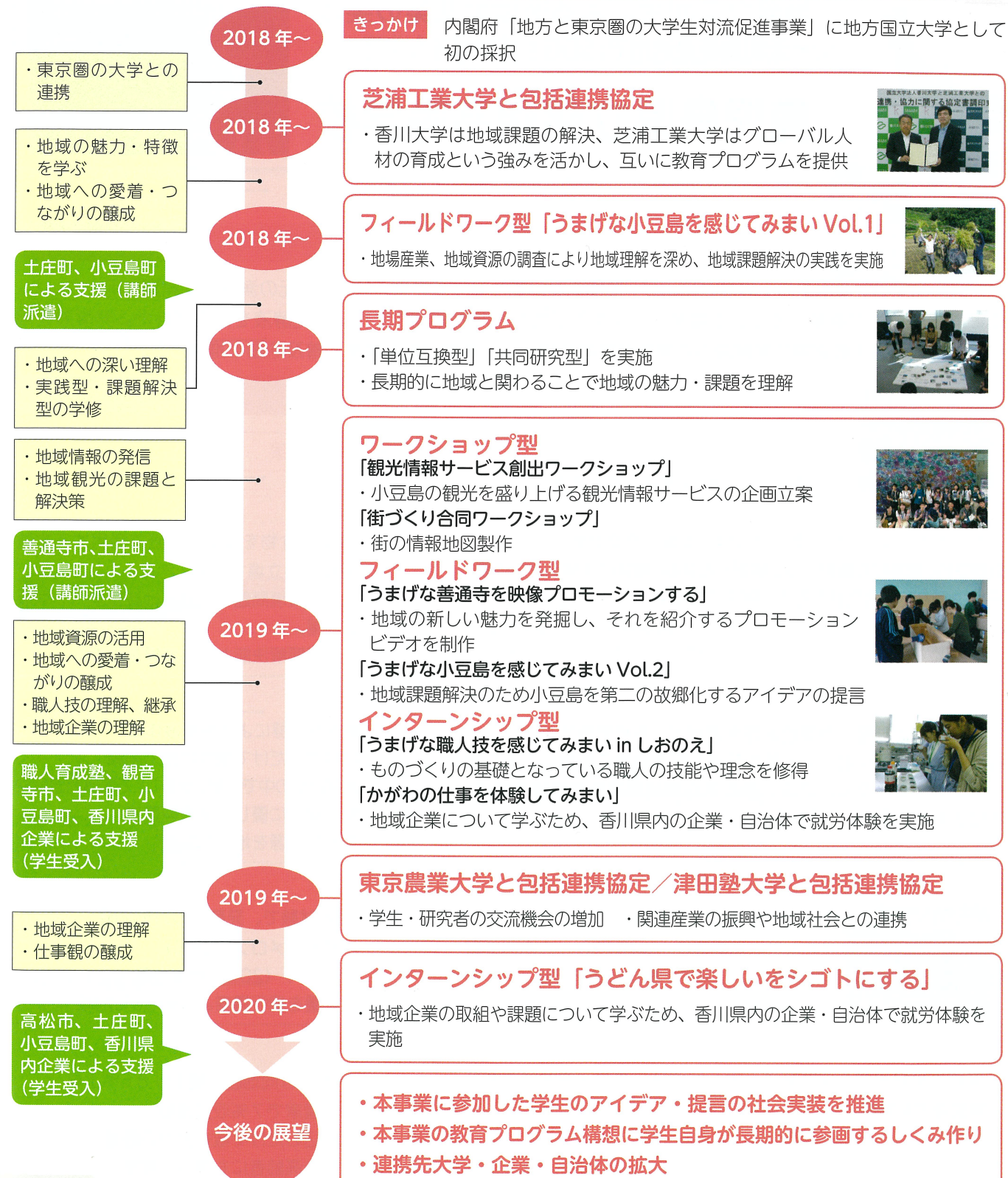
具体的な地域課題の解決策を提案。地域の魅力を発見しそれを紹介するプロモーションビデオを企画・制作し発信。参加学生の地域社会への関心、香川県に対する愛着が向上。

「職人育成塾」では、木工作業による木製プランターを製作し地元へ寄贈。自治体のインターンシップでは、ふるさと納税返礼品を提案し実際に採用。複数の大学の学生による、互いに異なる専門分野を持つ者同士が連携し課題を解決することで、各自の専門分野も深まり学習意欲も向上。

小豆島の観光地の魅力について情報発信するサービスの企画立案、および生活に根差した景観に関する情報地図を製作。成果物については、地域の域学連携施設にて展示。

「単位互換型」では、学生プロジェクトなどへの参加を通じて、地域住民と直接コミュニケーションを行うことで地域理解につなげた。「共同研究型」では建設作業従事者の安全意識向上を図るシステムの研究を実施。

取組のプロセス



DATA

事例名 ▶ 国立大学法人香川大学
 所在地 ▶ 香川県高松市幸町1番1号
 連絡先 ▶ 国立大学法人香川大学
 TEL 087-832-1370 FAX 087-832-1357
 E-mail chiikisen1@kagawa-u.ac.jp
 ウェブサイト ▶ <https://www.kagawa-u.ac.jp>
 講演依頼・視察受入 ▶ 可能

